



心を見つめる教育週間！

6月9日(火)～12日(金)まで「心を見つめる教育週間」です。初日の9日(火)の全校集会で、次のような話を、劇団スマイルの子たちと一緒に行いました。紹介します。

去年は「ありがとう貯金」に取り組みました。「ありがとう」と言ったり、言われたりしたら、カードに書いて貯めていきました。これは自分の中に貯める「ありがとう」です。

今年は、もう一歩進んで、次の人へつなぐ「ありがとう」です。運動会で6年生が、リレーをしていました。バトンをもらったら、次の人に渡します。ありがとうリレーも同じです。

例えばこんなことです。

ここで劇団スマイルの子供たちが登場し、三つの寸劇を見せてくれました。

- ① 1年生が落とした帽子を、6年生が拾ってくれる場面。
- ② その6年生が掃除も頑張っていると、他の6年生が手伝ってくれる場面。
- ③ 帽子を拾ってもらった1年生が、別の1年生の重い荷物を運ぶ時に手伝っている場面。

その後、劇団スマイルの子供たちが、全校児童に向けて、次のようなメッセージを伝えてくれました。

いい行動をすると、あなたの心のロウソクに、ありがとうの温かい火が灯ります。そして、次の小さな良い行動につながり、ロウソクの火を次の人に分けていきます。ありがとうのロウソクバトンを、渡せば渡すほど学校が明るくなります。あなたの行動が、学校全体をこうして明るくしていきます。

学校には、時々、「氷のように冷たいいじめ」が顔を出すことがあります。明るく温かいクラスや学校には、「氷のように冷たいいじめ」を溶かして消していく力があります。「ありがとうリレー」で明るく温かいクラスや学校になると、

- ・やさしい声かけが増えます。
- ・困っている人に気付くようになります。
- ・笑顔が増えます。
- ・あいさつが増えます。

すると、ますます明るく温かい学校になって、「氷のように冷たいいじめ」を一瞬で溶かして消していきます。

ありがとうリレーで、「明るく温かいスマイル上山」にしましょう。

スマイル上山が大切にしている「**貢献と感謝**」が、子供のありがとうリレーで繋がっていくことが楽しみです！



劇団スマイルの寸劇の様子①



劇団スマイルの寸劇の様子②



劇団スマイルのメッセージを伝える様子①



劇団スマイルのメッセージを伝える様子②